

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2018年2月

すべて重荷を負うて
苦勞している者は、
わたしのもとにきなさい。
あなたがたを
休ませてあげよう。

(新約聖書 マタイによる福音書 第11章28節)

毎日の生活、楽しいこと嬉しいこともあることと思います。でもむしろ、辛いこと苦しいこと悩ましいことのほうが多いように感じられるかも知れません。

自分なりに経験や努力を積み重ねてきて、それなりに自信がついてきたと思っていたのに、何かの出来事を通じて自分の無力さを思い知り目の前が真っ暗になる。「もうダメだ！」そういう場面に幾度となく出遭ったのではないのでしょうか。

休ませてあげよう！

どうにもならない時、何もかも捨てて逃げ出す人もいます。問題を見ないようにして放置します。でもそれでは心はますます苦しくなる一方で、何の解決にもなりません。いよいよ行き詰まって自殺してしまう人もいます。今日の前の困難から逃げるのに精一杯なのかもしれませんが、死後もはや決して逃げることのできない魂の絶望が待っていることを知っていたなら、死ぬことも出来なくなるでしょう。

「じゃあ、どうすればいい？」

どんな「重荷」を負っていても、魂の休みを得られる方法があります。冒頭の言葉を語ったイエス・キリストとともに歩むことです。キリストが語ってから二千年の時を経てもなお、この言葉によって休みを得る人々が世界中に大勢います。

キリストの更に千年前、古代イスラエル王国の詩人も次のように書き残しています。

わたしは山にむかって目をあげる。
わが助けは、どこから来るであろうか。



わが助けは、

天と地を造られた主から来る。 (旧約聖書 詩篇 第121篇 1~2節)

『主』である神様を知ったなら、私たちの重荷も苦労も問題も神様にとっては大きな事ではないから絶対大丈夫！ という安心感・期待感が、心に訪れることでしょ。

誰かが考案した宗教なんかじゃない。この天地万物を創り、今も存在している唯一の神様が実在するんだ。この神様は、わたしを愛し、休ませ、助けてくれるんだ。やさしく、親しく、一緒に歩いてくれるんだ。……そういう実感を持ってみたいありませんか？ 折りに触れて祈り、神様を求めて心の中で語りかけていくな、わかる時が来ます。

祈ってみましょう

困ったこと、苦しんだ事が何度もあります。一つ乗り越えても、問題は次々にやってきました。今、「助けは主から来る」と読みました。天地を造られた『主』に助けを求めたら良いと知りました。今はまだ、神様のことがよくわからずにいます。でももし「唯一の神様」という方が存在するのでしたら、知りたいと思います。わかるように助けて下さい。救いぬイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。

教会の定期集会のご案内

GP クラブ こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)

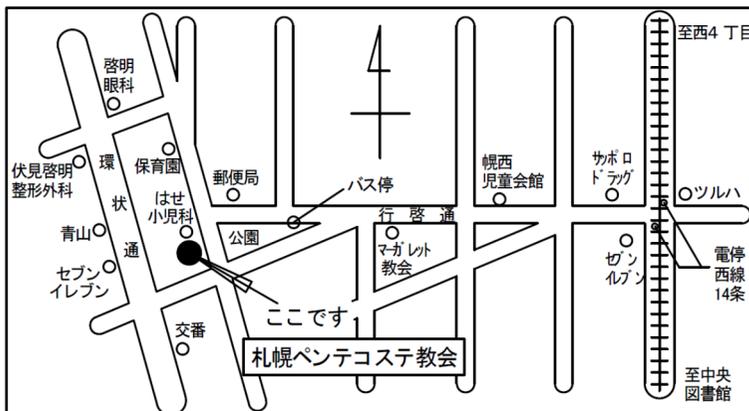
聖日礼拝 真の神様に賛美をささげ、聖書のことばを聴きます。
(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)

祈り会 神さまを賛美し祈ります。(概ね月 1 回、木曜日 よる 7:00~8:30)

それぞれ参加自由、入場無料です。自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、する・しないも、金額も、各自の自由です。その他ご希望があれば、神様について、イエス・キリストについて、聖書について、ご説明するお時間を取ります。お申し出下さい。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりできます。



【教会へのアクセス】

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車
駐車スペース有